

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マルベリー旭川荘		公表日 2026年3月10日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	座学と運動の部屋を分け、安全に活動ができるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	基準配置を満たしています。また、専門職(OT・ST・心理士)を午前中に配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	写真やイラストなど視覚支援を行い、子どもに分かりやすい環境づくりを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動によっては、集中しやすいように部屋を移動しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	気持ちが乗らない時などには、別室で活動ができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日、療育終了後に振り返りを行って、情報の共有をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に1回実施しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		外部評価は受けていませんが、荘内の第三者委員会から評価を受けており、業務改善へつなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	要件を満たしている職員に、児童発達支援管理責任者の研修を受講していただきました。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページ上に載せています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	計画作成に際して、保護者の方に要望をお聞きし、作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	会議で全職員が共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	子どもの発達状況に応じて、プログラムを組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	様々なアイデアを出し合い、季節に沿った活動プログラムを立てています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼時に一日の流れを確認し、グループに分かれて具体的に支援内容の確認を徹底しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	振り返りで出た反省や意見を次回の療育に取り入れていくようにしています。気付いた点や対応方法についてその都度話し合いをして共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	共有のフォルダーの中に入力用の記録があるため、担当者不在でも他の職員が対応し、記録を残すことができるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当者が参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者の方からの要望があれば、情報共有を行っています。	所属園からの要望があれば、情報提供できていますが、インクルージョン推進の観点は薄い状況です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者の方にサポートシートについて説明を行い、作成する際には一緒に検討させていただくようにしました。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0		中核機能を持つセンターとの関りは薄いです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	ふれあいまつりに出店し、地域の子どもたちと関わる機会を設けています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	毎回療育児に保護者と必ず様子を伝えあっています。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	研修案内を提示、配布を適宜行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	毎回、療育中や療育後に振り返りの時間を設けて、相談に応じるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	親子通園の保護者の方には、お部屋をお貸しし、茶話会を開く設定をしました。また、グループによっては、保護者同士でお話をする機会を設けています。	全グループに対して、横の繋がりができるように、保護者同士の集まりの場の提供を行っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事毎に書面で伝えるようにしています。	定期的なお便りの発行はできていません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	お子さんに合わせた支援ツールを準備しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	ふれあいセンター主催のおまつりや展示企画に参加をすることで、地域の方々にも知っていただく機会となりました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		各マニュアルの作成はできていますが、家族への周知ができておりません。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		全グループ対象では行えていません。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	入所時に、フェイスシートを記入していただいています。	予防接種の欄は作っていません。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者の方へのアセスメント時に聞き取りをしています。	親子通園のみ、おやつ時間を設けていますが、自宅から持参していただいていますので、こちらから提供はしておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画の作成はできています。また、訓練や研修も行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事案が起こった際には、早急に共有し、再発防止に向けて対応できています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止の研修や、感染症の研修を定期的に行っています。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	基本的に保護者の見守りの元、療育を行っているのですが、そのような事態になることはありませんが、計画書への記載はしています。	
--	----	--	---	---	---	--